令和５年度　第３回　事業評価監視委員会　審議案件一覧（道路事業：再評価）

資料１

資料番号	審議区分	県名	事業名	前回評価年度 【 】で前々回評価年度を記載している事業は、前々回の費用便益分析結果を用いた事業 （ ）は今回再評価理由	車線数	事業延長の変化 （ ）内は開通済み延長（R5予定含む）		全体事業費の変化		事業期間の変化 費用便益比算定上設定した事業期間		計画交通量の変化 上段は一体評価で算出した値、下段（ ）書きは個別事業毎に算出した値		費用便益比の変化 上段は一体評価で算出した値、下段（ ）書きは個別事業毎に算出した値				R5年度以降開通予定 （R5.12時点）	対応方針（原案）	県知事意見
														全体		残事業				
						前回	今回 【 】は 前回との差	前回	今回 【 】は 前回との差	前回	今回 【 】は 前回との差	前回	今回 【 】は 前回との差	前回	今回 【 】は 前回との差	前回	今回 【 】は 前回との差			
1 （資料３－１）	重点	福島	福島西道路 一般国道13号 福島西道路（Ⅱ期）	R３ （社会情勢の変化＜全体事業費の変更＞）	4 / 4	約6.3km （0km）	約6.3km （0km）	343 億円	473億円 【＋130億（38%）】 ○仮設工法の変更 ○転石処理の追加 ○トンネル補助工法の見直し ○物価上昇による増	15年 H24～R8	15年 H24～R8	－ （25,500台/日） ■推計：H22OD	28,900台/日 （26,500台/日） 【+1,000台/日】 最新ODへの見直し等 ■推計：H27OD	－ （1.6）	1.7 （1.5） － 【－0.1】 事業費増によるB/Cの減	－ （2.6）	2.8 （2.8） － 【＋0.2】 残事業費減によるB/Cの増	■令和８年度 完成４車線開通予定※ ※トンネル工事が順調に進んだ場合、用地買収が順調に進んだ場合	事業継続	事業継続
2 （資料４－１）	要点	岩手	一般国道４号 水沢東バイパス	R2 （社会情勢の変化＜全体事業費及び事業期間の変更＞）	4 / 4	約9.6km （6.9km）	約9.6km （6.9km）	390 億円	447 億円 【＋57億円（15%）】 ○横断構造物の構造変更 ○埋蔵文化財調査の増 ○交差点計画の変更 ○盛土材料の見直し ○物価上昇による増	41年 S60～R7	48年 【＋7年】 S60～R14 投資パターン及び事業費見直しに伴う工程精査 ※開通見通しは非公表	20,200台/日 ■推計：H22OD	19,900台/日 【－300台/日】 最新ODへの見直し等 ■推計：H27OD	1.05	0.8 【－0.25】 事業費・事業期間見直しによるB/Cの減	2.6	2.1 【－0.5】 事業費・事業期間見直しによるB/Cの減		事業継続	事業継続
3 （資料４－２）	要点	山形	（防災面の効果が大きい事業） 一般国道４７号 高屋道路	R4 （社会情勢の変化＜全体事業費及び事業期間の変更＞）	2/2	約3.4km （0km）	約3.4km （0km）	237億円	285億円 【＋48億円（20%）】 ○高屋トンネル施工方法見直し ○冬期安全対策設備の追加・電気設備トンネル設備の見直し ○物価上昇による増	19年 H18～R6	21年 【＋２年】 H18～R8 事業費見直しに伴う工程精査 ※開通見通しは非公表	15,600台/日 ■推計：H27OD	15,600台/日 ■推計：H27OD	－ 防災面の効果が大きいため、B/Cによらない事業	－ 防災面の効果が大きいため、B/Cによらない事業	－ 防災面の効果が大きいため、B/Cによらない事業	－ 防災面の効果が大きいため、B/Cによらない事業		事業継続	事業継続

※計画交通量・費用便益比の上段は一体評価で算出した値、下段（）書きは個別事業毎に算出した値